



会 長	小井田和哉	青少年奉仕	石橋 信雄
副 会 長	村井 達	幹 事	深澤 隆
クラブ奉仕		会 計	渡辺 孝
会長エレクト	小林 幹夫	会場監督	接待 一雄
職業奉仕	佐々木泰宏	直前会長	道尻 誠助
社会奉仕	橋本八右衛門	副 幹 事	正部家光彦
国際奉仕	妻神 和憲	会計補佐	紺野 広

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
 事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
 電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
 e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
 http://hachinohe-rotary.org/
 会報・広報委員長 菊地 幹 同副委員長 峯 正一
 同 委 員 村館 珠樹 同 委 員 奈良 全洋

国際ロータリーのテーマ — 2021～22 — 八戸ロータリークラブのテーマ

奉仕をしよう みんなの人生を豊かにするために

今できる親睦と奉仕を！

国際ロータリー会長 シェカール・メータ

八戸ロータリークラブ会長 小井田 和 哉

4 月 は 母 子 の 健 康 月 間 で す

第 3 2 2 3 回 例 会 2 0 2 2 . 4 . 1 3

会 長 要 件 小井田和哉 会長



昨日、一昨日とひじょうに暑い気温となりました。岩手では30℃を超えた場所もあったようです。八戸では27～28℃でしょうか。桜も開花予想が18～19日頃といていたのが一気に進んで今日の朝、新井田公園を歩いていましたらだいぶ桜が咲いてきておりました。

ただ明日から3日間くらい、今度は最高気温が7～8℃とグッと20℃くらい気温が下がりますので、体調管理に十分ご注意くださいと思います。

新型コロナウイルスも今、2類指定から5類に引き下げられるのではないかという話も聞かれています。withコロナということでだんだんと考え方も変えていく必要があるのかと思います。それにしても体には気を付けていかなければいけないと思いますので、皆さんも十分お気をつけいただければと思います。

新型コロナウイルスも今、2類指定から5類に引き下げられるのではないかという話も聞かれています。withコロナということでだんだんと考え方も変えていく必要があるのかと思います。それにしても体には気を付けていかなければいけないと思いますので、皆さんも十分お気をつけいただければと思います。

幹 事 報 告 深澤 隆 幹事



○レターボックスに「2021～22年度南グループIM要覧」が入っています。南グループガバナー補佐 岩岡隆雄様よりお手紙が入っています。2月19日に開催予定だったIMが中止になったということで、急遽それに代わるものとして実行委員の方々は紙面開催ということで開催したものです。成田ガバナーもコメントを寄せられていますのでご覧ください。

委 員 会 報 告

親睦・会場委員会

夏川戸 斉委員長



○ニコニコボックスの報告

・誕生祝

熊谷清一・種市良意さん
・結婚記念日 高谷勝義さん
小井田和哉さん 桜が咲きはじめました。

石橋敏文さん

孫2人が小学校に入学しました。

橋本八右衛門さん 美術館わきの「コスタシオン」いい感じです。

夏川戸 齊さん 3分スピーチ楽しみにしています。

赤澤栄治・廣田 茂・小田山紀暢 } ニコニコ
道尻誠助・福井哲郎・広瀬知明さん } デー

青少年奉仕委員会

石橋信雄委員長



交換留学生の件です。今回地区で交換留学生の募集をしたところ応募された学生がいました。八戸北高校の楠さんという高校1年生で、なんとしても留学したいということです。

八戸市内のロータリークラブの中でスポンサークラブとして検討いただきたいとの話がありました。八戸クラブとしては理事会の決定に伴いちょっと難しいと返事をしましたが、どうしてもこの方が留学したいとのことで、再度八戸市内のロータリークラブで、特に来年度築館ガバナーが出る八戸にスポンサークラブを検討いただけないかということで再度話がきています。

つきましてはこの件につきまして来週の理事会でスポンサークラブになるかどうかを再度検討しますが、その前に皆様方のご家庭で3～4カ月ホームステイをお引き受けできるご家庭がありましたら、来週までに事務局までご一報いただければと思います。そのことを基に来週の理事会で検討させていただきます。

3分間スピーチ



・熊谷清一さん

今月9日に74歳の誕生日を迎えました。誕生祝は先週だったようです。そこで今まで74年間を振り返ってみました。頭に浮かんだのは“糸”という中島みゆきの歌に、縦の糸はあなた 横の糸はわたしという歌詞が脳裏に浮かびました。わたしが中学校3年生のときに、サマセット・モームという人の「人間の絆」を読んだことが記憶

で蘇りました。糸はもう忘れていましたが、その中でペルシャ絨毯にまつわる話が出てきました。

ペルシャ絨毯の縦の糸は自分の人生、自己主体の人生。横の糸は環境、どういう人とどういってお付き合いをしたか、その人の交流も含めた環境。そして一生をかけて1枚のペルシャ絨毯が織りあがる。その模様は人それぞれが違う。当然その人の人格と環境が皆さん違うわけですから、1枚のペルシャ絨毯の織りあがった模様も人それぞれ全く模様が違う。出来上がったものは同じだけれど、その模様については結局は見る人の価値観でその模様の評価が違ってくる。そういうストーリーだったというふうに思っています。

中学のときはそうなのかな。これから1枚のペルシャ絨毯を織りなすのかなというふうに漠然と思っていました。今74歳になってみると、これまでに自分の生きざま、あるいはいろんな人との織りなす交流がありましたので、どういう模様ができているのかなと思いを馳せていました。

思いを馳せているうちに、わたしの学生時代からの親友が去年亡くなりました。彼は京都出身で、彼のお陰で京都の奥行きを深さを知ることができ、ひじょうに仲の良い友だちでした。彼の家は京都の祇園で、ぎをん齋藤という名前で呉服屋を営んでいました。ネットでぎをん齋藤と入れると出てくると思いますが、ひじょうに由緒ある老舗の呉服屋です。聞くところによると、室町時代から続いているというような老舗でした。

何と言っても彼は祇園で生まれ、祇園で育った人間ですので、祇園境界ではひじょうに顔が効く人物でした。京都の奥行きを痛切に感じた出来事は、彼と二人で祇園の町を歩いていて、ふつうの民家をガラガラと開けて、なにか中学の同級生の家でも入って行くのかなという形で、外で待っていました。そうしたら彼が早く入って来いよ。なんで彼の友だちの家にわたしが入らなければいけないのかとおずおずと入っていった。靴を脱いで上がって、しばらく廊下を歩いて行ったら、

目の先にカウンターがあった。要するにバーなんです。そういうバーが民家の奥のほうに設えてある。立派に営業しているお店でした。わたしが彼と一緒に行かなければ普通の民家ということで通り過ごすような状況でしたが、彼のお陰でこういうところにもこういうお店が設えてあり、こういうところで京都の人は楽しんでいるという、京都の一つの奥行きを深さを感じた次第です。

横の糸、人と人のお付き合い、縁、えにしは必然か偶然かわかりませんが、やはりご縁をいただいて、またいただいたご縁からまた紹介してもらったところから派生して、いろんな縁を結んでいけるのかな。それがまた一つの横の糸となって、その人独自の人生模様、絨毯の模様ができてくる。

わたしもこうして皆さんとロータリーの会員として仲良くさせていただいて、皆さんからのご縁もこれから十分にいただいて、できれば素敵なペルシャ絨毯の人生模様を描きたいと思っています。



・福井哲郎さん

久しぶりの例会に参加しました。1月以来の参加で、会社からコロナ期間中は極力会合などの出席を控えるようにと言われて、特にわたしは普段は青森にいて、こちらに来ているというところもあり、ちょっと青森もかなり感染が拡大していた部分もありましたので、出席を控えさせていただいていました。リモートでは顔を出していましたが、今回コロナ蔓延防止も明けたということで、4月からまた極力例会に参加するようにしていきたいと思っています。これからもよろしく願います。

レターボックスに「防災ハンドブック」を置かせていただきました。3月16日に福島沖で震度6強の地震がありました。新幹線もだいたいぶやられましたが、明日から東京まで全線開通するということですので、当初の計画より1週間くらい早まったのではと思います。こういう機会にこういう防災というところを

もう1回見直してみることが大事なかなと思い、配らせていただきました。

実際にわたしは在宅勤務で、会社からは会社に来るのを3割減らして、7割は家でということではほぼ引きこもりのような仕事ぶりです。そういった中で家にいたときに、防災ガイドをみながら、前回バックに入れた防災グッズをいつチェックしたかと思い起こしてみたら、5～6年も経っていました。中のものもちゃんとなっているかどうかと1回見直してみました。

P6をご覧ください。「非常に持ち出すもの」というチェック表があります。実際にわたしが見たところ、非常食や水はぜんぶ賞味期限が切れていました。そういったものを確認しながら廃棄したり、整理しました。チェックしたほうがいいと思ったのは懐中電灯が点くか。当初、安い懐中電灯を買って入れたので全然点かない。どうしてかなと思ったたら電池から白い粉が出て、中で固まっていました。そういったところも確認の必要があります。

5年前だとコロナ前でマスクは1～2枚しか入れていませんでしたが、マスクをもう少し多めに入れる。今のご時世だとアルコール消毒、体温計も入れたほうがいいかな。チェックしてみると、もう1回ちゃんと整理し直さなければだめだというところが見えましたので、ぜひ皆さんにもお勧めします。

P12「災害用伝言版」、P18「災害用キット」避難所情報を携帯で見れる環境を作っておくことも大事です。八戸の携帯電話のエリアは、津波の浸水エリアの基地局が全部、例えば津波などでやられたとしても結構9割くらい他の基地局でカバーできるくらい八戸のエリアは災害に強いです。なので、いざというときにこういうもので情報を集めながらやるというのはひじょうに大切かと思います。P24ラジオも携帯で聞けるようになります。

最近では災害が起こると避難所が開設された場合は、ほぼ避難所に即座に仮設の充電器を持っていくようにしています。なので、いざというときにはそういうところでも十分に充

電できますので、こういったものを入れておいて、聞ける環境だけ作っておくのはひじょうにいいかなと思います。ぜひ参考にしてください。



・板 慎一さん

わたしは火力発電所に勤めていますので、発電に関するお話をしたいと思います。

ちょっと昔と今では発電所の動かし方がどういうふうに変まっているかということが主題です。が、その前に予備知識として皆さんにご理解いただきたい部分がありますので、そちらを簡単にご説明します。

発電所では好き勝手に発電する量を多くしたり、少なくしたりするわけではありません。あくまでも需要と供給のバランスを保つ。簡単にいいますと東日本は50Hzという周波数で運転しているわけですが、その周波数を一定に保つために発電所の出力を増やしたり、減らしたりしています。実際にどれくらい一定に保っているかということ、ふつうは±0.1Hz以内で周波数を一定にするような運転を、火力発電所だけではなく水力発電所等も含めて出力を調整しながら、バランスを保つように運転しています。これが基本的な運転です。この間、福島で地震があったときには、実はかなり大規模な火力発電所の停止がありましたので、東京エリアではこういった状況になり、一時的に200万世帯が停電したという事象も起きています。そういったことのないように、バランスを取るように運転しているの

が基本です。

7年前は夜中に低い出力で運転して、だいたい日が昇って皆さんの活動が活発になると電気の使用量も増えてきますので、それに合わせた形で出力を上げていきます。翌日が土曜日だとあまり電気が要らないので発電所を止めています。毎回こういうパターンで運転しているとは限りませんが、これは春先の典型的な運転パターンです。それに対して去年、今年も同じような形ですが、夜中にむしろ出力をたくさん出し、朝日が昇る前あたりには発電所を止め、夕方の電灯が点く時間を狙って発電の出力を上げていく。昼間に出力を出していたのが昔、今は昼間はむしろ発電所を止めて、夕方の電気が点き始めるところに合わせて出力を上げる。こういうふうに昼夜逆転したような運転状態になっています。

この理由は何かといいますと、たぶん皆さんご察しがつくかと思いますが、太陽光や風力などいわゆる再生可能エネルギーがだいぶ発電電力に占める割合の中で大きな比率を占めてきています。今現在では日本全国で約1割が太陽光と風力によって電気を賄っている状況です。この辺は太陽光が頑張っている時間なので、火力発電所は電気を作る必要がない。でも全部の火力が止まっているわけではなく、これはあくまでも八戸火力が止まっているという意味です。

こういった形で昨今の再エネの拡大によって、火力発電所の動かし方は昔とはだいぶ変わってきています。

出席報告						出席委員会	
第3223回例会（4月13日）			第3221回例会（3月23日）				
出席率	100(63.9)%		出席率	100%	修正出席率	100%	
総会員数	61名	出席数 39名	総会員数	61名	メイクアップした人数	0名	
出席義務会員	出席免除会員	欠席数	出席義務会員名	出席免除会員名	欠席数	0名	
37名	2名	22名					